

WEEKLY NEWS 2013-2014年度 第2640地区 和歌山東南ロータリークラブ

週報 26号
通算 2078回



例会日：水曜日
第1・第2:18:30～(夜) 第3・第4・第5:12:30～(昼)
例会場：ルミール華月殿 和歌山市屋形町 2-10
事務局：〒640-8215 和歌山市橋丁 23
サイバーリンクス N-4ビル 2階
TEL 073-423-3666 FAX 073-423-7200
<http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary.html>
E-mail: a-rotary@coral.cypress.ne.jp
会長：郷間博敏 幹事：奥村智子
会報委員長：谷口 拓・副委員長：赤在依美



本地町の花
《はまゆう》

本日の例会
1月29日(水)
12:30～華月殿

ロータリーソング：それこそロータリー
行事：外部卓話「私の思うロータリーとは」
米山奨学生 涂彪様 (ホストRC:和歌山中RC)

次回の例会
2月5日(水)
18:30～華月殿

行事：クラブフォーラム
国際奉仕委員会

先週例会報告

ゲスト:伊太祁曾神社 禰宜 奥 重貴様、ピジター:東京日本橋西RC 青木義英様 会場監督 赤井 誠

会長挨拶

郷間 博敏 会長

本日は、伊太祁曾神社 禰宜 奥 重貴様 お忙しい所ありがとうございます。卓話、宜しく
お願いいたします。ピジターの青木様ごゆっくりして行って下さい。
最近、インフルエンザが流行っています。皆様ご注意ください。



幹事報告

奥村 智子 幹事

《理事会報告 140115》

○2月26日(水)例会休会について。承認。

(2月23日～25日 台北東南RCに会員・家族・事務局21名で表敬訪問をするため)

○和歌山南RCとの合同例会について。

当クラブ創立43周年記念例会を兼ねて行います。懇親会には和歌山大学観光学部

米山教授のオーボエ、ソプラノ、伴奏の演奏会を行います。配偶者様にもご参加頂きお聞き頂きたく
思いますので、皆様に案内を送ります。

・第9回ロータリーカップ ジュニアゴルフ大会の案内が届いております。

日時：3月27日(木) 9:00 スタート、場所：ラビーム白浜G.C.、部門：小学生の部・中学生の部・高校生
の部、主催：田辺東RC



ニコニコ箱

中曾真二郎 会計

郷間君・奥禰宜様、よろしくお願ひいたします。

中谷君・前はガン支援団体がお世話になり ありがとうございます。

中曾君・本年もよろしくお願ひします。名簿の住所間違っていますみませんでした。

本人誕生日お祝ひ・中曾君。



ニコニコ	米山奨学金	ロータリー財団	東南育英会	紀南災害義援BOX
累計 1,566,776	139,000	140,000	23,000	0

出席報告	出席者	出席率
会員総数	52名 1/22	31名 63.27%
出席免除会員	4名 1/8	43名 81.63%

「伊太祁曾神社について」 伊太祁曾神社 禰宜 奥 重貴様



日本最古の歴史書『日本書紀』には五十猛命（いたけるのみこと）という神様が、父神である素戔鳴尊の命により我が国に植樹をしたと記されています。五十猛命は日本列島をくまなく植樹し最後に現在の和歌山市にお鎮まりになりました。そこで植樹の神様、即ち「木の神様」が住む場所という意味で、この地は「木の国」と呼ばれるようになり、やがて「紀伊国」となります。この五十猛命を主祭神としてお祀りするのが伊太祁曾神社です。五十猛命をお祀りする神社は全国に三百社程度ありますが、その総本宮的位置づけとなるのが伊太祁曾神社でもあるのです。

さて、『日本書紀』の記述では五十猛命は植樹神として記されていますが、同時期に編纂された日本最古の書籍とされる『古事記』には「いのち神」として記されています。有名な「因幡の素兎（いなばのしろさぎ）」の続きのお話に大屋毘古神（おおやびこのかみ）として登場します。兎を助けて八神姫と結ばれた大国主神は、兄神の嫉妬により生命を狙われます。そこで大国主神は母神の助言を得て紀伊国の大屋毘古神に助けを求めます。大屋毘古神は木の俣をくぐらせて大国主神を災難から救ったと『古事記』に記されています。この神話にちなみ「いのち神」として慕われ、病氣平癒、厄難除けの参拝者が多いのです。

伊太祁曾神社の割拝殿には神話にでてくる「木の俣くぐり」があり、参拝者は厄除け祈願にくぐって行きます。この木の俣くぐりは御神木が自然の力でできあがったものです。また境内には「いのちの水」と呼ばれる湧水があり、こちらは病氣平癒祈願の方が汲んで行かれます。特に高野町や河内長野市あたりにはこの信仰は強く残っています。また、船は全て木で造られていたことから「船の神様」としての信仰も篤く、現在でも紀伊水道の漁師は大漁航海安全の祈願に伊太祁曾神社を参拝します。全国から木材関係者の参拝が多いのは言うまでもありません。このように、五十猛命（大屋毘古神）の御神徳にちなむ信仰が今も強く息づいています。

伊太祁曾神社では俗に“四大祭”と呼ばれる四つの大きなお祭りがあります。それぞれに非常に特徴的なお祭りともいえます。

一月十五日の卯杖祭は魔除け・厄除けと農作物の豊凶占いの祭典です。十四日夜に大釜で小豆粥を炊き、そこに節を取った竹筒を沈めます。引き上げた竹筒に残ったお粥が多ければ豊作、少なければ凶作とされ、米十七品種と果物を中心とした農作物十五品種を占います。十五日の祭礼では卯杖を用いて土中の邪気を祓います。

四月第一日曜日の木祭りは樹木の恩恵に感謝する祭典。祭典後にはチェーンソーカービングの世界王者城所啓二氏による実演奉納が行われたり、全国の崇敬者による餅撒きが行われます。近年は木材関係者に加えて環境問題に携わる人たちの参拝が増えています。

七月三十・三十一日の茅輪祭は通称わくぐり祭りとも呼ばれる夏越祓いの神事です。当日配られる人形（ひとがた）に自己の罪穢れを移し、大茅輪をくぐって参拝します。夏の夜祭として屋台も多く並び、奉納舞台では賑やかに歌舞等の奉納が行われます。

十月十五日の例祭は神社にとって一番大きなお祭りであり、日々の恩恵に感謝する祭典です。十五日の次の日曜日には神輿が三基出され、約三キロ北の奥宮まで往復します。神輿渡御の行列は威儀物や稚児も加わり二百名近くになることもあります。

近年の地球温暖化対策には木々の恩恵が必須と言われています。この美しい地球を次世代に引き継ぐためにも木の神様の御神威がいよいよ発揚されることに努めて参りたいと思います。

《ロータリアンの守るべき道》 ⑬「四つのテスト」を実践しましょう。